

※本ニュースリリースは、BIPROGY 株式会社、株式会社ヤマザワの共同ニュースリリースです。重複して配信される場合がありますこと、ご了承お願いいたします。

2026 年 10 月 6 日

BIPROGY 株式会社
株式会社ヤマザワ

山形県金山町で「VR シェルフ」を活用した買い物支援の実証実験を実施

～ 実物大の商品を画面上で見て選べる新たな買い物体験により、
買い物困難地域の利便性向上と地域コミュニティ創出を目指す～

BIPROGY とヤマザワは、山形県最上郡金山町で、実物大の商品を画面上で見て選べる「VR シェルフ」を活用した買い物支援の実証実験を 2026 年 11 月に実施します。
本実証では、利用者が「VR シェルフ」で商品を注文し、翌日に地域拠点で商品を受け取ることができる新たな買い物モデルを検証します。買い物困難地域での利便性向上に加え、地域コミュニティの形成を支援することで、持続可能な買い物支援モデルの構築を目指します。

【背景】

山形県では、人口減少や高齢化の進行により、採算性の問題から小売店の撤退が相次いでいます。山形県のデータによると高齢化率（総人口に占める 65 歳以上人口の割合）は 35.6%と全国的にも高水準にあり、日常の買い物が困難な地域が拡大しています。さらに、後継者不足による商店の閉店も進み、地域住民の生活利便性の低下が社会課題となっています。このような中、地域住民が買い物に不自由せず、安心して暮らし続けられる仕組みづくりが求められています。

これらの課題を踏まえ、BIPROGY とヤマザワは、山形大学と連携して、買い物困難地域における新たな買い物モデルの実現に向け、山形県最上郡金山町で実証プロジェクトを推進してきました。



「VR シェルフ」（イメージ）

【概要】

本実証実験は、金山町中央公民館において、実物大の商品をモニター上で確認して購入（注文）できる「VR シェルフ」を活用した新たな買い物体験を提供します。利用者が「VR シェルフ」を利用してヤマザワの実店舗で取り扱う生鮮品などの食品を注文し、翌日公民館で受け取る仕組みを実装します。利用者の購買実績やアンケートを通じて、利便性や地域コミュニティ拠点としての有効性を検証します。

■実証実験概要

- 実施日：2026 年 11 月 3 日、7 日
- 場 所：山形県最上郡金山町中央公民館（住所：山形県最上郡金山町大字金山 571）
- 役 割：

組織名	役割
BIPROGY	買い物ソリューションの構築と運用
ヤマザワ	物流網の整備、買い物ソリューションの提供
山形大学	コミュニティーの在り方に関する知見の提供

【今後の取り組み】

BIPROGY とヤマザワは、本実証で得られる検証結果や利用者の声を踏まえ、買い物困難地域における持続可能な買い物支援モデルの構築を目指します。今後、同様の課題を抱える地域への展開も視野に入れ、地域社会の活性化に貢献していきます。

以 上

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/